

<h1>取扱説明書</h1>	テレメータ
	アナログ信号伝送用 テレメータ変換器 TMA

◆◆◆◆◆

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

◆◆◆◆◆

概要

（主な機能と特長）

TMAは、NTT等の専用回線を使用して、水位、圧力、流量、成分分析などのアナログ信号1点を遠隔地に伝送し、集中管理を行うための変換器です。（財）電気通信端末機器審査協会の技術的条件適合認定〔送信ユニット（TMA - S - ）M90 - N239 - 0、受信ユニット（TMA - R - ）M90 - N240 - 1〕を受けています。回路に生じる誘導ノイズの影響を受けません。出力回路は入力、電源と電氣的に絶縁されています。取扱いが容易なプラグイン構造です。

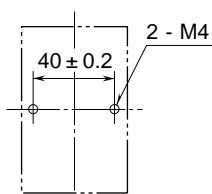
設置

設置には次のような場所をお選び下さい。

- 屋内で、周囲温度が -5 ~ +60 の場所
- 湿度が 30 ~ 90 %RH で、結露しない場所
- 雨や水のかからない場所
- 腐食性ガス、粉塵や振動のない場所

取付は、壁取付または DIN レール取付が行えます。壁取付は下図の要領で行って下さい。

取付寸法図（単位：mm）



・密着取付可能

調整

弊社では入力に対して基準精度内に調整して出荷しております。校正するときは次の要領で行って下さい。

模擬入力信号を 0 % 相当値に設定し、ZERO で出力を 0 % に合わせます。

模擬入力信号を 100 % 相当値に設定し、SPAN で出力を 100 % に合わせます。

再び、模擬入力信号を 0 % 相当値に設定し、ゼロ出力を確認して下さい。

ゼロ出力がずれているときは、～ の操作を繰返して下さい。

点検

端子接続図に従って結線がされていますか。

供給電源の電圧は正常ですか。

端子番号 - 間をテスタの電圧レンジで測定して下さい。

TMA - S の入力信号は正常ですか。

入力値が 0 ~ 100 % の範囲内であれば正常です。

TMA - R の出力信号は正常ですか。

負荷抵抗値が許容負荷抵抗を満足するか確認して下さい。

回線抵抗値は正常ですか。

本器の許容回線抵抗値は 3 k です。利用される NTT 専用線の往復抵抗値がそれ以下であるか確認して下さい。

雷対策

雷による誘導サージ対策のため弊社では、電子機器専用避雷器 <エム・レスタシリーズ> をご用意致しております。併せてご利用下さい。

保証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。

接 続

各端子の接続は下図の要領で行って下さい。なお、専用線との接続を行うには、工事担任者の資格が必要です。接続は必ず工事担任者が行うか、工事担任者の監督のもとで行って下さい。

結線要領図

